

全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全学年、国語・算数ともに全国平均を上回るかほぼ同程度である。 ○国語科では、「書くこと」の正答率が、全国平均より高く、文章を書くことができている。 ○国語科では、「漢字の読み」の正答率が高く、漢字を正しく読んだり、語句の使い方を理解したりすることができている。 ○算数科では、「数と計算」の正答率が全国平均より高く、四則計算が正確にできている。 ○算数科では、「図形」の正答率が高く、理解や作図がよくできている。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲国語科では、説明文の内容を読み取ったり、段落相互の関係を捉えたりすることがやや苦手である。 ▲算数科では、変化と関係、適切なデータを選ぶ等、思考・判断・表現する力が弱い。 ▲国語・算数ともに、情報量の多い問題文の中から、解答に必要な情報を見付けたり、取捨選択したりすることが難しい。 	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○早寝、早起き、朝ごはん等の基本的な生活習慣が身に付いている児童が多い。 ○地域の行事に参加している児童が多い。 ○算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書くことができている。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲コンピュータなどのICT機器の使用が少ない。 ▲自分の思いや考えを言葉で表すことが苦手な児童が多い。 ▲自分でやると決めたことをやり遂げようとする児童が少ない。 ▲難しいことでも、失敗を恐れず挑戦している児童が少ない。

改 善 策

学 校 中 の 取 組

- ①4月始めに共通理解をした『学習のきまり』について、再度職員・児童と確認し、定着を図る。
「話す・聞く」の姿勢 「書く」の姿勢 学習基盤の確立(チャイムの合図を守る・「めあて」「まとめ」と「ふりかえり」のある授業) 学び合う学習集団作り 算数ノートのとり方
- ②ICTの活用
・朝の学習(月曜日 タブレットドリル)を設定 タブレットを活用した健康観察
- ③基礎学力の定着のための取組
・漢字の習得(繰り返し練習 熟語で覚える 間違えそうなポイントを自分で確認できるようにする)
・説明文の読み取り(構成や段落相互の関係を捉える)
- ④情報量の多い問題から、目的に応じた情報を見付ける練習
・授業の中で、問題解決に必要な情報を児童に見付けさせたり、選ばせたりする場面を設定
・朝学ががんばり月間を設け、学習到達度確認テスト等に取り組む

中 学 校 区 中 の 取 組

- 中学校の定期試験期間に合わせて家庭学習強化週間(「家庭学習がんばりカード」、「宿題忘れゼロウィーク」)を実施して、学習習慣・読書習慣の確立を図る。
- 生活習慣強化週間「早ね!早おき!朝ごはん!金光 学力アップ大作戦チェック表」を行い、メディアコントロール力の伸長を含めた生活習慣の改善・定着を図る。
- 中学校区CSの目指す子ども像「広い視野と思いやりの心をもった、心身共に元気で明るく前向きな子」を設定し、共通理解のもと各教科・領域において連続した取組を実践する。

家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い

- 共通の話題について親子で会話をしましょう。その際には、お子さんに「どう思った?」「あなたならどうする?」などと聞き、子どもの意見を尊重するようにしましょう。
- 家庭内での仕事を決め、やり抜く力をつけましょう。できた時には、しっかりほめましょう。